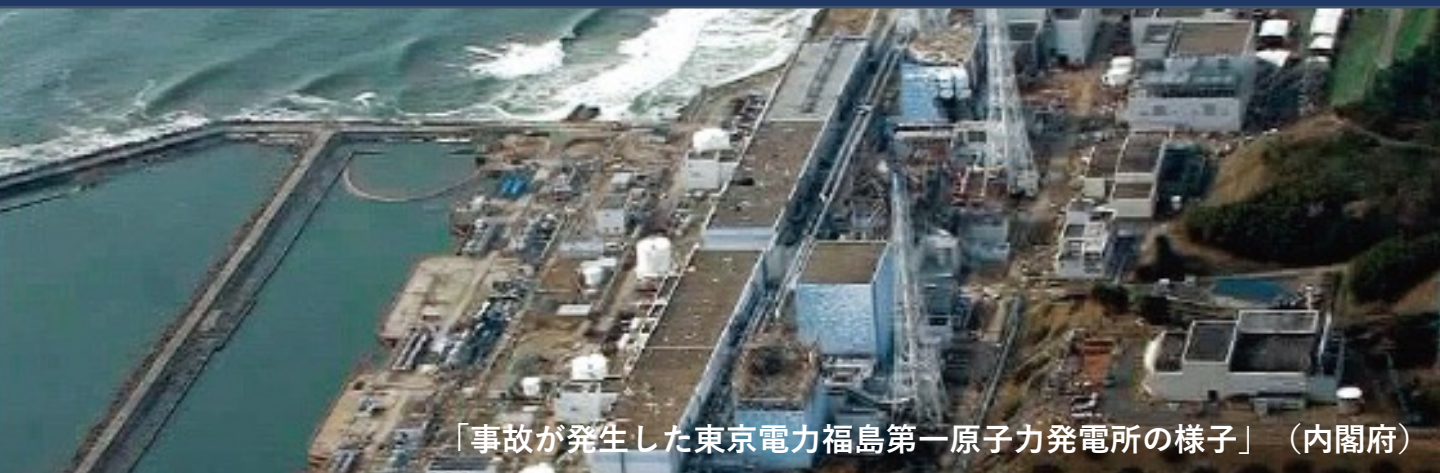


～さようなら原発・核燃「3.11」弘前集会～



「事故が発生した東京電力福島第一原子力発電所の様子」 (内閣府)

[基調講演]

我が国の原子力救済策は破綻する

～気候変動、エネルギー安定供給にどのように対処すべきか～



講師 大島堅一 氏 (龍谷大学教授、原子力市民委員会座長)

1967年 福井県生まれ。専門は環境経済学・環境政策学。立命館大学国際関係学部教授を経て、2017年から龍谷大学政策学部教授。2018年から原子力市民委員会座長。著書に『再生可能エネルギーの政治経済学』(2010年、環境経済・政策学会奨励賞)、『原発のコスト』(2012年、大佛次郎論壇賞)などがある。

福島第一原発事故を受けて発令された原子力緊急事態宣言が解除されていないにも関わらず、現政権は突如として原子力推進に舵を切りました。気候変動問題への対応、エネルギーの安定供給を理由にしていますが、原子力を推進してもこれらの問題は解決できません。それどころか、原子力の推進には大きな危険と費用が伴います。現政権は衰退する原子力産業を無理やり救済しようとしているように見えます。このようなことを許して、私たちの国の将来は大丈夫でしょうか。こうした点をエネルギー・環境問題の第一人者である大島堅一氏と一緒に考えます。

日時 2023年3月4日(土) 13時30分開場、14時00分開会～17時00分(予定)
会場 弘前市総合学習センター多目的ホール (弘前市末広4-10-1/TEL 0172-32-4800)
進行 14:00～ 挨拶・情勢報告、14:30～ リレートーク、
15:10～ 基調講演、16:40～ アピール採択
参加費 500円(資料代を含みます)

主催 核燃・だまっちゃおられん津軽の会

お問い合わせ 核燃・だまっちゃおられん津軽の会事務局

(永瀬範明 TEL 0172-39-3535/ Mail: snaga@hirosaki-u.ac.jp)

